

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	「越前おおのまると道の駅」拠点整備														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	福井県,大野市														
計画の目標	中部縦貫自動車道の開通を見据え、「越前おおのまると道の駅ビジョン」における核となる施設「道の駅」を整備することにより、交流人口の増加を図る。 今後起こりうる大規模災害に対し、太平洋側的高速交通体系が分断された場合をも想定し、ヘリポートなどを設置することにより、救援活動や災害ボランティアの支援、支援物資の搬入の拠点となる広域防災拠点の機能を整備することにより、後方支援を円滑に行う。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		505	A	470	B	0	C	35	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		6.93	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	大野市第五次総合計画に基づいたふれあい交流人口(大野市の人口と大野市外からの来訪者数を加えた人口)を1日38,000人と設定し、その中でも主な構成要素である大野市の観光入込客数を1日約6,000人(年間220万人)と設定する。大規模災害に対し、広域防災拠点機能を有した整備を行い、後方支援に対応する。（※ 大野市第5次総合計画後期計画H27～H32） 大野市の観光入込客数を平成31年度末で、年間213万人とする。	193万人	200万人	213万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	福井県	直接	福井県	－	－	21-A1 重点「道の駅」 結の故郷	休憩所、駐車場、トイレ等	大野市			■	■	■	470		－	
											小計						470			
											合計						470			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	C01-001	道路	一般	大野市	直接	大野市	市町村 道	施設整 備	21-C1 重点「道の駅」企 画検討	協議会設置、企画検討	大野市	■	■				35		—
		21-A1等の整備と合わせ、関係期間で構成する協議会を設置して国・県・市および地域が一体となって詳細な企画を検討することで、効果的な地域創造拠点の整備を実現する。																	
											小計						35		
											合計						35		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福井県において評価を実施	事業完了後
	公表の方法
	福井県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大野市内に道の駅を整備することにより、大野市観光入込客数が増大した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	大野市観光入込客数、年間213万人（平成31年度末）		
	最 終 目標値	213万人	
	最 終 実績値	210万人	